

# 第7回「ゆめづくりまちづくり賞」（優秀賞）

## 人と自然が共生するカタクリ100万本の里山 ＜矢環境緑化実行委員会＞

時代の変化にともない薪から石油に変化し里山は荒れ果てた。これに危機感を感じ地区全体での里山整備の取り組みが始まった。単に整備して綺麗にしても継続的な整備が行われなければ意味がないとの考えから、整備した後に桜を植えてその桜を整備していくなどの工夫が盛り込まれた。その桜は切り花用として地元の商店に出品するなど産業を創出した。また、桜の整備中に発見したカタクリとともに地域一体を矢桜公園として整備しイベントを開催したことで、自分たちの住んでいる地区には誇れる地域資源が存在することを確認した。地区が総力を挙げて取り組んで活動し、多くの人に来てもらい、イベントで交流することで、地区外からの参加者が来るなど広く展開している。イベント協力者は当時、ボランティアだったが、イベントで得た資金から手当てを出すことでモチベーションを上げている仕組みを取り入れた。自分たちの住んでいる地区には地域資源は何も無いと思い込んでいたが、大いなる自然そのものが誇りであると認識するに至っている。



地域で里山を守るための整備の様子



120本の桜をみんなで植樹



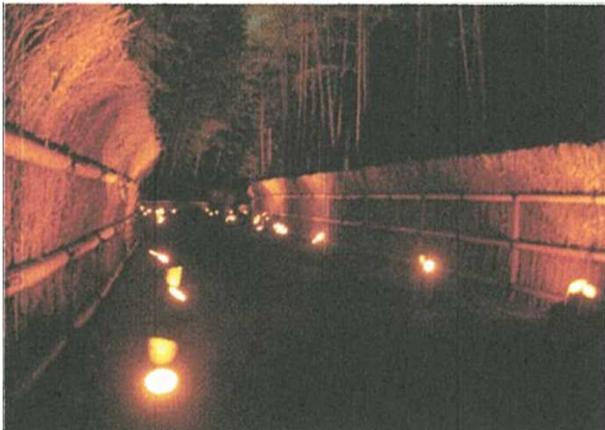
地域の誇りカタクリ発見

# 第7回「ゆめづくりりまちづくり賞」（優秀賞）

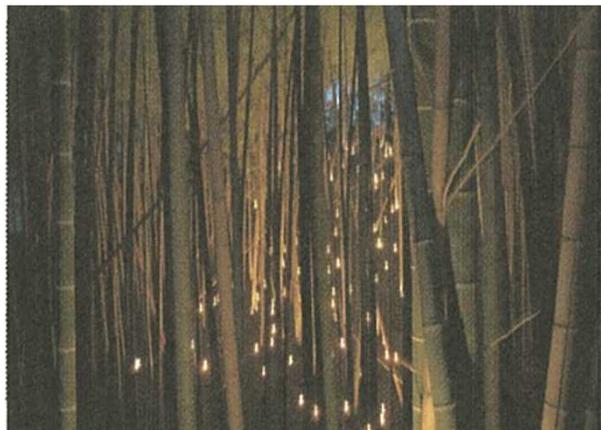
## 竹の径・かぐやの夕べ

### ＜向日市観光協会＞

西ノ岡の竹林は良質なたけのこの産地として全国に知られているが、近年は放置竹林が増加していた。そこで、放置竹林で伐採した竹で竹筒を制作するなど、竹林の保護整備と地域振興を目的とした「竹の径・かぐやの夕べ」の開催に至り、竹を地域資源として活用することで、竹林の保全整備と地域の魅力づくり創出につながった。このイベントでは、演奏会の実施や京都府内の観光交流促進のためのPRブースを設けるほか、住民等による手作り作品を展示するなど、地域住民や団体等みんなで作りに上げる向日市秋の風物詩として定着している。また、このイベントに市内の店舗が出店することで地域住民への店舗PRにつながっている。なお、このイベントで使用した竹筒は、希望者に配布し、迎春の門松や花瓶等に活用するなど、資源としての再利用を図っている。そして、会場となる竹の径は、日頃から地域の方の散歩道として親しまれるなど、良質なたけのこの産地としての魅力を構築した。



竹行灯で彩る幻想的な散歩道



保護整備された竹林から見る竹林灯



市内店舗の出店が地域のPRに

# 第7回「ゆめづくりまちづくり賞」（優秀賞）

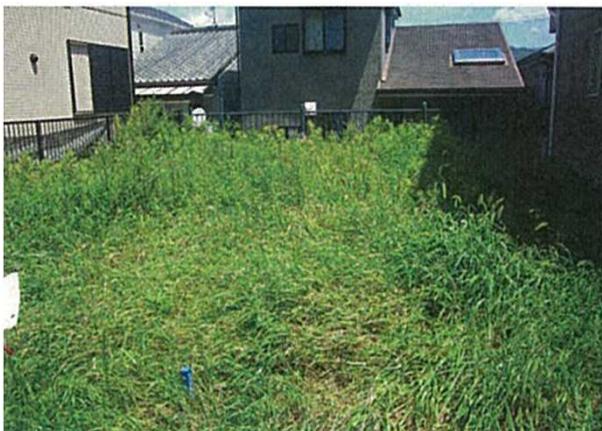
## 『まちなか魅力スポットの創出』

～密集市街地の空き地・老朽空き家を魅力スポットに変身！～

＜兵庫区北西部まちづくり協議会＞

兵庫区北西部地区は地震時等に著しく危険な密集市街地であったため、災害時に防災活動の場となる「まちなか防災空地」の整備を実施した。近年、放置された空き地や老朽空き家が目立ち防犯や住環境の面からも改善が課題であったが、まちなかに防災機能を持った広場を確保することで、コミュニティの場も創出できた。

その結果、地域の方々の交流が増えたことで、新たなまちづくり人材の発掘につながり、まちづくり協議会の活動への参加者が増えた。また、魅力が認知され「自分の地区へも」と近隣地区へ整備が波及した。空き地や老朽空き家といった「負の資産」を単に無くすだけでなく、「新たな魅力資源」として再生する取り組みを実施している。



放置された空き地



防災空地の中に菜園を設けた「まちなか魅力スポット」



地域で検討している様子(まちづくり協議会)

# 第7回「ゆめづくりまちづくり賞」（奨励賞）

## 堺に縁ある”すずめ踊り”を絆とした「人が輝く元気なまち」づくり ＜堺すずめ踊り協賛会＞

「すずめ踊り」は仙台城移転の儀式で堺から石垣造りに参じた石工衆たちが伊達政宗の前で踊ったとの伝説があった。この堺に縁のある「すずめ踊り」を普及し、活動を通じて人と人との絆を強くすることで、地域の元気づくりに貢献している。初めての参加者へのフォローに細心を尽くすことで、絆づくりやの喜びが実感でき地域の愛着心が醸成されるとともに、堺市内7区に少なくとも一つの祭連(まづら)が立ち上がるなど広く展開している。また、「すずめ踊り」で使用するハッピーや楽器は新たな地場産業の業容を拡大した。活動の持続可能性を見据え、実技者単位の連合組織「堺すずめ踊り連盟」と財政や事業企画支援を目的とする「堺すずめ踊り協賛会」を分離する仕組みを取り入れている。「人が輝き、地域を元気に！」を普及活動の理念(合い言葉)に、これまで堺にはなかったこの「すずめ踊り」を普及させることで地域の魅力を再発見し、堺市民の絆づくりと東日本大震災被災者の激励活動に取り組んでいる。



実技者がすずめ踊りを伝授



子ども達も大好きすずめ踊り



人との絆を強める(被災地の子どもを招待)

# 第7回「ゆめづくりまちづくり賞」（奨励賞）

## かばんを核にしたまちづくり～地場産業ブランドと地域拠点立ち上げ～ ＜豊岡まちづくり株式会社＞

豊岡市は高齢化や人口減少のためシャッター通りとなっていたため、鞆の産地を活かした拠点をつくることで市街地への集客機能を創出し流入人工を増やした。長らく他社の製品をつくる街であったため、地域の方々は鞆が誘客する地域資源になるか不安があったなか、空き店舗を利用したイベント等を開催することで雰囲気づくりを実施する工夫をした。鞆企業においては地域団体商標「豊岡鞆」ブランドを作り豊岡製造に特化したオリジナル商材を製造しブランディングに取り組んだ。また、周辺ショッップや観光地と連携し「鞆の街」の歴史やショッップ等を説明するツアーを実施することで「鞆の街」が定着する雰囲気を醸成した。拠点施設は豊岡製の各社のオリジナル鞆の他、本事業で商品開発された鞆が販売されるなど新たな商品に結びついている。オリジナル商品開発に積極的に協力し集客のマグネットとして絶えず新たな鞆に出会える魅力のある店舗づくりを心掛けている。



地域づくりの拠点。集客のマグネット



商店街イベント「カバストマルシェ」



ショッップを説明する「鞆の街」ツアー